

本日は、令和5年始めの始業式。今回も皆さんの顔は見えないけれど、だからこそ学校で、通学路で元気なあいさつを交わす瞬間はよりうれしく感じます。いつもありがとう。どのような時でも挨拶を掛け合うことができる相手がいる幸せを今日も感じる事ができました。

さて、去年はコロナ感染症の影響で様々な制限があった年でしたが、その制限があるからこそ今までにない工夫や気持ちの切り替えが経験できた年でもありました。今朝は用水路には氷が張り、霜も立つ寒さでしたが、コロナ感染症対策のためにも教室の換気には気を付けてくださいね。学校の紅梅も咲き始めました。季節は着実に前に向かっていきます。

最終学期となり、クラスメイトと共に受ける授業も数えることができるほどになりました。この校舎やグラウンドでの残された授業時間を、その瞬間をあらためて思い、味わえるのもこの3学期の醍醐味です。毎時間の授業では何か一つでもよいので新たな発見を見つける気持ちで参加してほしいと思います。

また、高校での部活動は中学校とも、卒業後経験する集団での活動とも違う、唯一無二のものです。山北高校の先輩方が積み重ねた基盤があればこそ、その心を尊重し、さらに新たな歴史を積み上げられるのは高校時代の皆さんならではの。一人ではできないことも部活動の仲間と共に「挑戦する力」を鍛えてほしいと思います。

そして3年生。特に、先月行われた山北町での「未来探究」の発表は中学生からも「高校生の発表力のすばらしさ」を賞嘆されました。私自身は、高校生だから素晴らしいのではなく皆さんが探究の時間で3年間取り組んだこと、多面的に物事を捉えようと努力したことが素晴らしいと非常に高く評価したいと思います。1、2、年生もぜひ、あとに続きましょう。

さて、去年、今年度の始めに、自分が大切にしたいと思うものの奥にある「目に見えないもの」をつかんでほしい、意識してほしいということをお話ししました。そのことで皆さんの高校生活がより「面白く」「強くなやか」になるからと。年度の最後の学期、残された時間に、再度、自分が大切にしたいものは何か、そのために自分が何をするか、できることをやってみませんか。皆さんは、できます。皆さんの周りにいる先生も仲間も力になります。

今年は跳躍の年。よいウサギ年としましょう。